

学校点描

続

カンボジアで教育推進のNPO活動をしているお二人が来校しました。M中学校の教育を広めたいと話していました。

《M中学校》

NO.10

R6. 9. 04

担当：校長

8月26日にSまつり奉納大会が行われ、男子73kgでK・Kさんが優勝、男子73kg超級でT・Yさんが優勝、男子60kg級で、K・Sさんが準優勝しました。おめでとうございます。

本校で『黒板アート甲子園』を夏休み中より開催していました。美術の新開先生が呼びかけたら、2年生の5名の女子生徒が挑戦してくれました。インターネットでチョークの使い方を調べながら描いてくれたそうです。何よりも「やってみよう」と行動に移した5名が素敵です。

8月30日（金）に地区少年の主張大会がF形町農村環境改善センターで開催され、O・Yさんが「フラワーアーチを超えて」の演題で素晴らしい発表を行いました。結果、優秀賞となり9月9日にM山市民会館で開催される最北大会の出場権を獲得しました。

9月11日（水）に町健康福祉課主催の『SOS出し方教育普及拡大モデル事業』が行われます。9：30～10：20が1年生、10：30～11：20が2年生、11：30～12：20が3年生で図書室前の集会室で行います。何か困ったときに援助を求める力をつけさせるには、信頼できる受け手の存在が必要です。お時間がありましたら、保護者の方々もぜひ聴講にいらしてください。援助を求める対象は教師だけとは限りません。

タイムカプセル

巣立っていったわが家の娘の部屋は、まだまだ中高生の時のままです。久しぶ



りに掃除機をかけようと部屋に入ると、なんだか派手な箱が出てきました。箱には“6の2タイムカプセル”の文字。一番上に乗っている便せんの裏には、当時大好きだったのでしょう初音ミクのイラストが添えられた文が見えます。「お絵かき続けてほしい。この絵が恥ずかしいと思えるぐらい絵がうまくなってね!!」と自分宛に書いてあります。自分の成長を未来に託しているのがタイムカプセルなのでしょう。

8月30日に、生徒会の役員改選のための立会演説会が行われました。定数オーバーのため選挙となる役職もあれば、信任・不信任投票の役職もあります。

立会演説会の運営は、選挙管理委員長の3年生F・Kさんをリーダーに各クラスの選挙管理委員の生徒たちが行いました。いずれの立候補者もこれまで過ごしてきた学校生活で感じている自分の思いを述べています。そして、それを基に、より良い学校生活に変えるためのさまざまな具体策を公約という形で述べています。とてもレベルが高いものでした。

同日に、地区少年の主張大会で優秀賞に輝いた3年生のO・Yさんは、その主張の中で、小学校時代に、やりたかった仕事を周囲の目に遠慮して諦めたことが今でも後悔していると語りました。その後悔したことから学んだことは、たとえみんなから選ばれなくても、「やってみよう」と思ったことには、手を挙げていく生き方だと続けます。「私の想いを守ってあげられるのは、私だけなのだから」と。

立候補した中学生も、少年の主張大会に挑んだ中学生も、数年前までは小学生でした。そこからいろいろな経験を通して、加速度的に成長していくのが中学生です。家にある“6の2のタイムカプセル”。何十年後に中のイラストを見て思うのは、きっと絵がうまくなったことではなく、あの頃できなかった自分、やりたくてもやれなかった自分、という思い出の中の自分との出逢いです。

放課後、F・K選挙管理委員長が校長室に選挙結果を報告に来てくれました。ひととおり結果を聞いてから、わたしの方からリクエストをします。

「わたしは中学校のとき生徒会長に立候補して落ちたんだ。だから落ちた人に配慮した結果報告をしてくださいね。みんながんばったんだからね」と。

そう言ったら、Fさんがこう切り返して、瞬時に優しくわたしをフォローしてくれます。

「わかりました。でも先生は、今は校長先生ですから（昔の落ちたことにがっかりしないで）だいじょうぶですよ」と。

こんな会話ができる中学生との出逢いが、わたしに教師になる理由を思い出させてくれるタイムカプセルなのです。

きりとりせん

ご意見・ご感想をお願いします。